

萩市交通ネットワーク計画で定める目標と現状

資料 1

基本方針① 市民の日常生活を支える生活交通網の構築

基本方針② 多様な公共交通の組み合わせによる、より効果的な公共交通網の構築

基本方針③ 行政・市民・交通事業者等の連携・協働による持続可能な公共交通の維持・確保

基本方針④ 豊かな暮らしと観光交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築

方針項目	成果指標	設定の考え方	平成30年度 現状値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 見込み値	令和6年度 目標値	令和3年度推進事業
基①	高齢者の公共交通に対する満足度（65歳以上の高齢者の満足・まあ満足と答えた人の割合）	利用しやすい公共交通を構築することで、交通弱者といわれる高齢者の満足度の向上	17%	—	—	—	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・萩循環まあーるバスの運行形態の再編 まあーるバス実証運行事業（R2～） ・地域巡回ぐるっとバスの運行形態の再編 田万川…弥富診療所通院対応 むつみ…デマンド運行への再編 旭…デマンド運行への再編 生活拠点(道の駅)への運行体制 ・高齢者が利用しやすい環境整備 高齢者移動支援助成事業（R2～） ・待合環境及び乗継環境の向上 老朽化待合ベンチの更新 ・バリアフリーに対応した新船建造 離島航路事業（相島新船建造支援）
	高齢者の買い物、通院での公共交通利用割合	運行体系の見直しや新たな交通の導入、高齢者への利用者負担軽減策等による公共交通利用割合の増加	買い物 6% 通院 10%	—	—	—	買い物 10% 通院 15%	
	路線バス年間利用者数	運行ルート、ダイヤ等の見直しや高齢者への利用者負担軽減策等による路線バス利用者数の増加	223,876人	206,780人	205,645人	207,000人	230,000人	
	ぐるっとバス年間利用者数	デマンド化等運行体系の見直しや新たな地区への導入による利用者数の増加	13,383人	22,603人	22,990人	23,500人	24,000人	
	まあーるバス年間利用者数	まあーるバスの利便性の向上による利用者数の増加	213,943人	208,183人	155,791人	175,000人	238,000人	
基②	公共交通の人口カバー率（ぐるっとバス含む）	路線バスからの代替、地域コミュニティ交通などの組み合わせにより、効果的な交通網を再構築しながら、高い公共交通カバー率を維持	92%	92%	92%	92%	92%	<ul style="list-style-type: none"> ・路線廃止に伴う生活バス等の運行 生活バス…田万川、むつみ、須佐地域 乗合タクシー…木間・山田地区
基③	住民主体の地域コミュニティ交通の導入支援団体数と運行実施主体数	住民主体の取り組み支援と地域コミュニティ交通の確立	導入支援 — 運行実施 1組織	導入支援 — 運行実施 1組織	導入支援 — 運行実施 1組織	導入支援 2団体 運行実施 1組織	導入支援 10団体 運行実施 2組織	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ交通の確保と取組に対する支援 コミュニティ交通モデル形成事業 交通空白地域支援事業（三見巡回バス） ・運転手の確保対策 地域内事業者を公共交通の担い手として確保 （市町村自家用有償旅客運送の実施） ・分かり易い公共交通情報の提供と利用促進 総合時刻表等作成事業（R2～）
	協議会・ワークショップの開催	公共交通の利用推進や自家用車からの利用転換を促進（モビリティ・マネジメント）、意見交換の開催	—	各地域・地区で 開催	各地域・地区で 開催	各地域・地区で 開催	各地域・地区で 開催	
基④	まあーるバスの市外来訪者年間利用者数	観光施策との連携や、経路検索サイトの活用等、積極的な情報提供による利用者の増加	34,231人	33,309人	17,500人	21,000人	38,000人	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供機能の強化等 情報通信技術(ICT)機能の活用 ・交通系ICカードの利用促進 中国ジェイアールバスICOCAシステムR2導入
	交通系ICカードの導入・利用促進	交通事業者へシステム導入促進とICカードの利用促進	—	—	システム導入 (1事業者)	システム可動 (1事業者)	システム導入路線 利用者数の50%	